

平和島駅周辺地区まちづくり協議会活動報告書

平成 26 年度 平和島駅周辺の現況と課題の整理

－ 目 次 －

1. 背景・目的
2. 対象範囲
3. 現況整理
 - 1) エリア別現況
 - 2) まちの資源
 - 3) 公共交通
 - 4) 歩行者環境（通勤・通学）
 - 5) 自転車利用環境
4. アンケート・ワークショップの整理
 - 1) アンケートの再整理
 - 2) ワークショップの整理
5. 簡易調査のまとめ
 - 1) 平和島駅商店会の駅直近街区事業者意向調査
 - 2) 平和島駅前歩行者交通量調査
6. 課題の整理
 - 1) 基盤施設関連の課題
 - 2) 地域連携の課題
7. 次年度に向けたまとめ

1. 背景・目的

平和島駅西側は駅を中心に商店街・住宅地が形成されている。ミハラ通りは、歴史を感じる旧東海道のイメージで整備された商店街が連なる。第一京浜と環状7号線の立体交差化により渋滞が緩和されたが、依然交通量が多く円滑な通行が確保されていない。駅周辺では臨海部に広がる公園のほか、大森ふるさとの浜辺公園も整備され、潤い・憩い空間としての資源が豊富である。

平和島駅周辺は、まちの機能更新の時期を迎えようとしている。まちの様々な課題を解決するとともに、周辺の資源を活かしたにぎわいの創出や安全・安心で住みやすいまちをめざした活動に取り組むため、まちづくり方針となる「まちづくり基本計画」を策定する。今年度は、まちづくりの方向性を検討するための現況と課題を整理する。

2. 対象範囲

- ・協議会まちづくり活動範囲（下図のピンクのエリア）

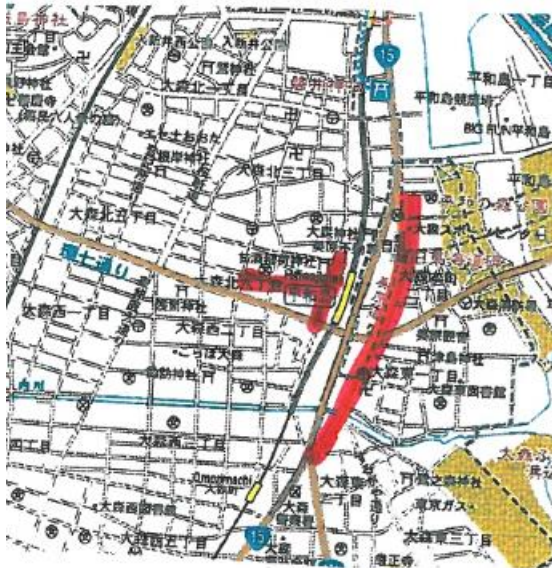


3. 現況整理

1) エリア別現況

①平和島駅西側

- ・ 駅前の商店街を中心に住宅地が周辺に広がっている。
- ・ 商店街は、建て詰まりが目立ち、老朽化した建物が見られる。一部、個別建替えを行っている箇所がある。



※赤色の線は、平和島駅商店会



②平和島駅東側

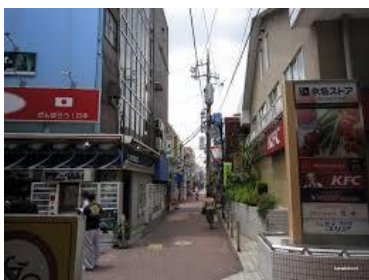
- ・ 京浜急行に沿って第一京浜が通っており、並行してミハラ通り（旧東海道）の商店街を中心にまちが形成されている。
- ・ 商店街は、旧東海道の歴史を感じる景観づくりを行い、まちの魅力を高めている。
- ・ 臨海部には、大規模公園が点在している。



2) まちの資源

① 駅直近商店街

- ・ 駅西側の平和島駅商店会には飲食店を中心に店舗が広がっている。



② 旧東海道の歴史が残るミハラ通り商店街

- ・ ミハラ通りは、「街並みづくり事業」で整備され、旧東海道の趣を持った商店街になっている。



③ 駅周辺の集客施設、臨海部の公共施設

- ・ 平和島競艇場やしながわ水族館、臨海部の大規模公園など、集客できる施設が存在する。



④ 主要道路の存在（第一京浜、環状7号線）

- ・ 物流で重要な幹線道路が交差している。



3) 公共交通（鉄道、バス、タクシー）

①京浜急行線駅区内3番目の乗降客数

平成25年度 区内京浜急行線駅年間乗降客数上位（単位：千人）

順位	1	2	3	4	5	6	7
駅名	羽田空港国内線ターミナル	京急蒲田	平和島	雑色	大鳥居	糎谷	天空橋
線	空港線	本線	本線	本線	空港線	空港線	空港線
乗降人数	28,474	17,931	16,792	10,780	10,100	8,510	7,046

②路線バス系統、乗降場位置

のりば	系統	行先	主な経由地・備考
1	森24	京浜島循環	流通センター前
	森25	昭和島循環	流通センター前
	森31	流通センター循環	流通センター前
	森32	城南島循環	流通センター前・大田市場
	森36	京浜島・昭和島循環	流通センター前
	森41	大森車庫	流通センター前・京浜島・昭和島循環
	森41	レジヤランド平和島	流通センター前・京浜島・昭和島循環
	森43	大田市場	流通センター前
	平和41	レジヤランド平和島	流通センター前
	平和54	レジヤランド平和島	流通センター前・京浜島循環
	3	直行	ビッグファン平和島・競艇劇場
平和39		平和島ポートレース場	競艇開催日のみ
森40		船の科学館	レジヤランド平和島・中央公園・東京テレポート駅
平和41・54		レジヤランド平和島	
4	森21・24・25 森26・31・32 森36・43・46	大森駅	大森海岸駅
	森27	大森駅	大森西特別出張所
	5	森56	大森駅
森40		大森駅	途中止まりません
6	森11	羽田空港（国際線ターミナル）	大森海岸駅・平和島駅・六間堀（早朝のみ）
	森21	羽田空港（第1ターミナル）	大森海岸駅・平和島駅・六間堀・羽田空港（国際線ターミナル）
	森21	羽田車庫	大森海岸駅・平和島駅・北糎谷・六間堀
	森23	羽田車庫	北糎谷・大鳥居
	森26	森ヶ崎	北糎谷
	森27	大森東五丁目	大森警察
	森56	森ヶ崎	北糎谷



③側道に縦列するタクシー待機



4) 歩行者環境（通勤・通学）

①通勤・通学時間帯に集中する歩行者

- ・駅前周辺の歩行者交通量の簡易調査を実施した。

「簡易調査のまとめ」で現況、課題、課題解決の方向性を整理する。

5) 自転車利用環境

①自転車利用実態調査

【参考資料：平成 24 年度 大田区駅別自転車等駐車実態調査結果】

平和島駅（平成 20 年 6 月調査）	
◇ 駅勢圏人口（62,940 人）に対する自転車利用率：3.8%	
◇ 収容可能台数 計 1,747 台	
・【公共】平和島駅前国道下自転車駐車場：1,270	
・【公共】京急平和島駅前自転車駐車場：377	
・【施設】京急ストア駐輪場等：100	

平和島	集中台数			収容可能台数			過不足
	実駐車台数	放置台数	合計	公共	施設	合計	
平日 9 時	1,274	693	1,967	1,647		1,647	-320
平日ピーク	1,521	878	2,399	1,647	100	1,747	-652
休日ピーク	1,071	982	2,053	1,647	100	1,747	-306

将来需要台数（平成 30 年）

通勤・通学		買い物等		合計	
1,923 台		433 台		2,356 台	
東エリア	西エリア	東エリア	西エリア	東エリア	西エリア
1,261 台	662 台	380 台	53 台	1,641 台	715 台

② 平和島駅前駐輪場



③ 平和島駅前放置自転車



4. アンケート・ワークショップの整理

1) アンケートの再整理

【平成 22 年度 平和島駅周辺地区街づくりアンケート結果まとめ】

■アンケート配布数：310 回収：178 回収率：57.4%

複数回答可

1. 駐輪について

	困っている	少し困っている	駐輪場が 分からない	便利な駐輪場 が欲しい	放置自転車に 困っている
回答数	29	41	18	67	84
	16.3%	23.0%	10.1%	37.6%	47.2%

■駐輪台数不足、利便性の高い駐輪場の必要性を感じている人が3～4割を占めており、駐輪対策についての検討が必要である。

■調査範囲の約半数の人が放置自転車を迷惑と感じており、ソフト的な対策なども検討が必要である。

2. バス・タクシー乗り場について

	よく利用する	ときどき 利用する	あまり 利用しない	待機場所が せまい	
回答数	18	51	87	54	
	10.1%	28.7%	48.9%	30.3%	

■乗り場のスペース不足は全体の3割となっているが、実際に利用する人はスペース不足を実感していると想定される。利用実態を把握し、必要な広さの算定と面積確保の方法を検討する必要がある。

3. 横断歩道について

	満足	待機場所が せまい	危険を感じる		
回答数	31	69	91		
	17.4%	38.8%	51.1%		

■信号待ちスペースのせまさを感じている人は4割程度、特に通勤・通学等、人が集中する時間帯の危険性を感じる人が約半数となっている。歩行者交通量調査や歩行者空間確保について検討することが必要である。

4. 駅改札外側通路について

	満足	広さは良い	待機場所が せまい	危険を感じる	
回答数	18	27	99	47	
	10.1%	15.2%	55.6%	26.4%	

■駅改修工事の影響も考えられ、せまさを感じる人が半数以上を占め、危険を感じる人が4分の1を超えている。駅前を含めた歩行者環境改善のための整備に向けた検討が必要である。

5. 防災・防犯について

	安心できる街	緊急車両 通行に不安	夜間の 道路が不安		
回答数	31	69	91		
	17.4%	38.8%	51.1%		

■街の安全性について、安心であるとする人は2割を切っている。緊急車両の通行や防犯面での不安を感じている人も多く、地域の課題として取り組む必要がある。

6. 買い物について

	満足	求める 商品がない	商品が少ない	対応・雰囲気 がよくない	
回答数	59	66	58	15	
	33.1%	37.1%	32.6%	8.4%	

■店に対する不満は低いが、幅広い業種や品揃えに不足を感じている人が3～4割程度占めており、商店街活性化に向けた取り組みが必要である。

【平成 23 年度 平和島駅周辺地区街づくりアンケート結果まとめ】

■アンケート配布数：655 回収：261 回収率：39.8%

【問 1】平和島駅周辺について、どの程度満足していますか？

1. 歴史・文化について

①歴史・文化・伝統の保護

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	35	81	33	9	101	2
	13.4%	31.0%	12.6%	3.4%	38.7%	0.8%

②神事などの祭礼

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	44	115	18	7	74	3
	16.9%	44.1%	6.9%	2.7%	28.4%	1.1%

③町会などの地域活動

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	47	103	24	5	78	4
	18.0%	39.5%	9.2%	1.9%	29.9%	1.5%

■約半数の人が満足としているが、年代別では 40～70 代の回答が多かったことがひとつの要因として想定され、詳細な分析も必要と考える。

■3～4 割の人が「わからない」と回答しており、この人たちの地域活動参加を含め、活動を継承していくための取り組みについても検討することが必要である。

2. 生活・環境について

①地域の防災

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	37	96	32	15	78	3
	14.2%	36.8%	12.3%	5.7%	29.9%	1.1%

②まちの緑化

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	33	93	74	29	32	0
	12.6%	35.6%	28.4%	11.1%	12.3%	0.0%

③まちの美化

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	30	99	73	33	22	4
	11.5%	37.9%	28.0%	12.6%	8.4%	1.5%

■防災について「わからない」が 3 割、緑化や美化について「不満」とする人が 4 割を占めており、内容が不明なので、課題を整理する中で詳細にまとめることが必要である。

3. 交通について

①放置自転車対策

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	34	77	62	60	26	2
	13.0%	29.5%	23.8%	23.0%	10.0%	0.8%

②駐輪場の数

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	22	65	67	70	35	2
	8.4%	24.9%	25.7%	26.8%	13.4%	0.8%

③バリアフリー化

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	17	67	68	44	57	8
	6.5%	25.7%	26.1%	16.9%	21.8%	3.1%

■放置自転車対策では約半数の人が不満としており、現状を把握するとともに対策についての検討が必要である。

■駐輪台数では 5 割強の人が不満としており、既存の駐輪場の利用実態把握や不足台数を精査し、駐輪場整備の考え方をまとめる必要がある。

4. 商業施設について

①スーパー

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	57	116	53	20	13	2
	21.8%	44.4%	20.3%	7.7%	5.0%	0.8%

②コンビニエンスストア

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	68	140	28	8	10	7
	26.1%	53.6%	10.7%	3.1%	3.8%	2.7%

③商店街

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	未回答
回答数	26	82	76	53	18	6
	10.0%	31.4%	29.1%	20.3%	6.9%	2.3%

■スーパー、コンビニは現況でほぼ満足しているようだが、商店街については不満としている人が5割となっている。商店街に対する要望などを把握し、にぎわいにつながる取り組みを検討する必要がある。

【問2】問1の項目の中で最も必要であると思うものはどれですか？3つ選択

項目	1-①	1-②	1-③	2-①	2-②	2-③
回答数	35	11	40	98	53	104
割合	4.6%	1.4%	5.3%	12.9%	7.0%	13.7%
項目	3-①	3-②	3-③	4-①	4-②	4-③
回答数	108	70	75	33	29	103
割合	14.2%	9.2%	9.9%	4.3%	3.8%	13.6%

■地域防災、まちの美化、自転車問題の関心が高い。課題を整理し、まちづくり活動の取り組みを検討する必要がある。

■商店街に不満としている人が5割に加え、重要項目としても高い数値となっている。商店街活性化を取り組みの重点課題として扱う必要がある。

【問3】平和島駅周辺の施設を利用していますか？（利用したことがある方の順位）

公園	平和の森公園	大森ふるさとの浜辺公園	平和島公園	城南島海浜公園	東京港野鳥公園	大井ふ頭中央海浜公園
	213	177	139	111	109	72
	81.6%	67.8%	53.3%	42.5%	41.8%	27.6%
施設	大森スポーツセンター	大森海苔のふるさと館	大森東図書館	大田市場	東京流通センター	ミハラ文化センター
	139	124	123	116	108	100
	53.3%	47.5%	47.1%	44.4%	41.4%	38.3%
	大田スタジアム	平和島ユースセンター	こらぼ大森			
78	74	62				
29.9%	28.4%	23.8%				

■駅に近い公園の利用率が高く、島部の公園利用率が低い。島部の公園を知らない人の割合も多く、臨海部の資源を活用したまちづくりの取り組みとして、公園の特徴を把握し、情報を発信していくことも考えられるが、これをどのようにまちの活性化につなげるかが重要である。

■施設利用については、利用目的が明確であるので、需要状況に合わせた結果となっている。

【問5】平和島駅周辺についての意見・要望等

1. 歴史・文化について

- 子どもたちの社会教育をより充実させていくための地域活動の重要性について意見があった。コミュニティを根付かせていくためにも重要な活動と考える。

2. 生活・環境について

- 駅前周辺の喫煙や喫煙所、ごみに関する意見が多く、現状を把握し、今後の対策を検討する必要がある。
- 「緑化や憩いのスペース確保によりまちのイメージを向上させる」といった意見もあり、ゆとりある駅前空間の確保や景観に配慮した街並みをどのように形成していくのか検討する必要がある。
- 防災訓練の参加者が高齢者が多く、防災に対する不安を持つ人がいる。アンケートでも不満やわからないという回答もあり、地域の防災態勢について検証する必要がある。
- 若い世代からは、スポーツ施設の充実や娯楽施設、量販店などを求める意見があがっている。まちの価値をどのような形にどのように高めていくのか考えていくことも必要である。

3. 交通について

- 歩行者環境と自転車に関する意見が多く、駅前の車寄せについても触れた人がいた。将来の駅前空間について、現実的にどのような整備ができるのか検討を深めていくことが必要である。

4. 商業施設について

- 商店街は、居酒屋などはあるが、食事ができる店がないなど、業種の充実を求める意見があった。商店街の活性については今後の大きな課題である。

2) ワークショップの整理

【平和島駅周辺地区のまちづくりを語り合う会での意見整理】

第1回 交通利便性のあるまち

区分	要 旨	◇：特徴 ◆：問題・課題 ○：解決案
鉄道	◇京浜急行線があるので都心・横浜・羽田方面への利便性がよい。	
	◆屋間の京急ダイヤは、各駅停車のみで速達性に欠ける。 ◆横浜方面は、京急蒲田での乗り換えの手間がある。 ◆駅のバリアフリーが充実していない。	
	○各駅停車は、2番ホームでなく1番ホームで乗り降りする。 ○駅のホームドアを設置する。	
	【まとめ】 ・京浜急行線により、都心、川崎・横浜、羽田空港方面へのアクセスはよいが、屋間におけるダイヤは各駅停車のみとなっており、速達性という意味では利便性に欠ける。以前のよう に急行等の停車を望むのであれば、屋間に鉄道利用者が増加する駅周辺でのまちづくりが求められる。 ・駅ホームは通過電車があるにもかかわらず、安全対策が万全ではない。ホームドア設置等の対応が必要と考える。	
道路	◇第一京浜、環状7号線の幹線道路が通っている。 ◇首都高速道路が近い。 ◇お台場が近い。	
	◆環状7号線が頻繁に渋滞する。 ◆大森東交差点を通行する大型車が多い。 ◆大型車と一般車が混在して危険である。 ◆自動車交通量が多く、騒音や空気がよくない。 ◆駅周辺に一般車が寄せられるスペースがない。 ◆島から蒲田方面の抜け道が狭い。	
	○車道を地下化する。 ○大森東交差点をアンダーパスにする。 ○大森東交差点を通過しない大型車ルートまたは環7を整備する。 ○昭和島への避難橋を活用する。 ○歩・車分離の信号にする。	
	【まとめ】 ・第一京浜と環状7号は立体交差となっているが、未だに環状7号の渋滞が発生している。環状7号と第一京浜側道の交差について、円滑に通行できる対策を検討することが求められる。	
バス	◆乗降場の分散で分かりづらく利用が不便である。 ◆各乗降場のバスの行き先がわからない。 ◆乗降場が狭い。 ◆乗降場の位置が駅から遠い。 ◆蒲田系統の便がない。 ◆大森駅から臨海部にある公園施設までの便が悪い。 ◆池上方面への環7を通るバスがない。	
	○駅前ターミナルを整備する。 ○乗降場を整備する。 ○コミュニティバスを運行する。 ○臨海部方面への増便等により利便性を向上させる。 ○平和島～池上のバス系統を増設する。	
	【まとめ】 ・乗降場が分散しており、各系統の路線が分かりにくい。バス利用案内盤を充実することや、乗降場の再配置を検討することも必要と考えられる。 ・新たなバス系統については、需要調査や事業者との協議が必要である。	

区分	要 旨 ◇：特徴 ◆：問題・課題 ○：解決案
タクシー	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 駅前側道に滞留しているため、道路幅員が不足している。 ◆ 利用しにくい。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前ターミナルを整備する。 ○ タクシー乗り場を手前にする。
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前側道に待機するタクシーにより、環7から第一京浜へ流入する車両の円滑な通行が確保できていない。臨海部方面への移動手段としてタクシーは有効であり、十分な待機場を確保し、タクシー交通を充実することも求められる。
歩行者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自転車と錯綜して危険である。 ◆ 横断歩道がなく不便な箇所がある。 ◆ 信号機が車優先になっている。 ◆ 大森東交差点の歩道（横断）。 ◆ 第一京浜を渡る横断歩道の歩道滞留スペースが狭い。 ◆ 駅前の道が狭い。 ◆ 誘導案内サインが不十分である。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前の第一京浜の信号、横断歩道を整理する。 ○ 大森東交差点から地下を活用して駅までの歩行者動線を確保する。 ○ 駅から臨海方面へ歩行者専用道路をつくる。 ○ 横断歩道を拡幅する。 ○ 環7とミハラ通りの交差点をスクランブル化する。 ○ ペDESTリアンデッキを設置する。
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一京浜側の歩道では、横断歩道付近の歩行者の滞留、自転車との錯綜が発生しており、歩行者環境が不十分である。歩行者の滞留を解消するためには、歩行者の円滑な通行を確保する信号調整が考えられるが、交差点付近の渋滞を増長することが予想される。上空利用するペDESTリアンデッキも考えられるが、既に第一京浜がオーバーパスとなっており整備は難しい。可能性としては、地下を活用した歩行者動線が考えられる。 ・ 駅前の商店街の道路は、放置自転車対策などにより、緊急車両が円滑に通行できる幅員を確保することが必要である。 ・ 来街者のための、交通案内・施設誘導サインを充実することが求められる。
自転車	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自転車の走行空間が危険である。 ◆ 駐輪場に置きっぱなしの自転車が多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地下自転車駐車を整備する。 ○ 自転車走行環境（自転車専用道等）を整備する。 ○ 駅に自転車を止める場所を確保する。 ○ 駅前駐輪場。
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放置自転車対策や将来需要に対応した自転車駐車の整備が求められる。 ・ 臨海部方面等の移動手段として有効な自転車利用を推進するためにも、自転車走行環境を充実するとともに自転車利用マナーを向上し自転車事故の軽減を図ることも必要である。

区分	要 旨 ◇：特徴 ◆：問題・課題 ○：解決案
交通全般	◇環7、第一京浜、流通センター駅、平和島、大森など交通の要所である。
	◆馬込方面のアクセスが悪い。 ◆駅周辺の利便性が悪い。
	○京急平和島～大井方面
	【まとめ】 ・平和島駅周辺は第一京浜・環状7号の幹線道路が通っており、都心・横浜方面、内陸・臨海部方面の道路が充実している。 ・鉄道では、京浜急行線により、都心・横浜・羽田空港方面のアクセスは充実しているが、内陸方面の鉄道がなく、大森や臨海部へは、主にバスが移動手段となっている。
その他	◇景色や自然に触れることができる臨海部、大規模公園が近い。 ◇旧東海道のミハラ通りの景観がよい。 ◇民間や公共の集客施設（大田市場、公園、海苔の資料館等）が多い。 ◇魅力のある商店街（するがや通り）がある。
	◆防犯面で危険な箇所（平和島公園近く）がある。 ◆公園等のリソースはあるが、近隣住民は行かない。 ◆商店街に人が流れない。 ◆店舗（飲食店）が少ない。 ◆羽田空港が近いのにホテルがない。
	○防犯カメラを設置する。 ○歩いて楽しい道を整備する。 ○公園利用者用のシャワーを設置する。 ○公園めぐりツアー・舟のツアーを企画する。 ○高架下空間を活用して店舗を整備する。 ○子どもや高齢者の生活に合わせたまちづくりを推進する。 ○臨海部の自然環境を拡充、野鳥が飛来する環境を整備する。 ○子どもが遊べる通りを整備する。 ○内川の大森西側を綺麗にする。 ○昼間人口に合わせた商業配置。 ○学生・NPOを活性化する。
	【まとめ】 ・平和島駅周辺には、観光資源等が充実している。これらの資源を活かしたまちづくりを推進し、魅力あるまちとして多くの来街者でにぎわうとともに、住む人にとって安全で安心して暮らせる環境を維持していくことが求められる。
【総括】 1) バス利用 ・京浜急行線により、都心・横浜方面への南北方向の鉄道は満たされているが、大森・臨海部方面の東西方向は、主にバス交通により移動手段を確保している。バス乗降場が分散していることで、利用しづらい状況となっているため、バス案内盤の工夫や配置についても改善していくことが求められる。 2) 歩行者環境 ・第一京浜側の歩道では、通勤時間帯での横断歩道付近の歩行者の滞留により、円滑に移動できる環境が確保できていない。歩道幅員の確保の方法や円滑に移動できる歩行者動線確保の検討を進めていく必要がある。 ・駅西側商店街の街区は、建物が密集し老朽化も見られる。周辺道路は狭い箇所も多く、建物の建替えに合わせて道路幅員を確保していくことも考えなくてはならない。 3) タクシー利用 ・第一京浜側道に待機するタクシーが、他の車両の通行の妨げになることもあり、新たに待機スペースを確保することが求められる。 4) 自転車利用 ・「大田区自転車等利用総合基本計画」に基づき、放置実態や将来需要に対応した自転車駐車場整備の具体化に向けた検討を進めていく必要がある。	

第2回 安全で安心なまち

区分	要 旨 ◇：取組状況 ◆：問題・課題 ○：解決案
防災	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 4 町会合同防災訓練を年 1 回実施 ◇ ころば大森障害児者委員会では講演会等を実施 ◇ スタッフの防災用具の設置（ワーカーズ・コープ） ◇ 平和の森公園で毎月消防ポンプ訓練を実施 ◇ 町会の防災訓練参加への呼びかけ ◇ 消防少年団で地域の防災リーダーの育成 ◇ 町会の市民消防隊、市民救護隊の強化 ◇ 小学校の防災訓練の毎月の実施 ◇ 共同住宅の防災訓練の実施 ◇ 家屋密集と狭あい道路に対応した消防活動。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災・避難訓練参加者が固定され、若者の参加が少ない。 ◆ マンションの防災訓練ができていないところがある。 ◆ 津波対策が万全でない。 ◆ 行き止まりとなっている大森西二丁目 31・32 の避難場所が大森第五小学校 ◆ 平和島駅前には緊急車両の通行が困難である。 ◆ 道路幅員が不足している箇所がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災運動会などの開催により、参加者を増やす。 ○ 楽しい防災イベントを公園で地域が開催する。 ○ 避難場所は、町会を超えて地域でまとめる。 ○ 駅前を再開発する
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や地域での防災（消防）訓練は定期的実施しているようだが、若い世帯の参加者が少ないようである。参加者を増やすための子どもから参加できる防災イベントなどを実施していくことも検討していくことが必要である。 ・ 町会単位での避難場所の設定は、実態に合っていない場合があるので精査する必要がある。 ・ 建て詰まりや道路幅員の不足の解消など、減災をめざした街並みの整備を検討することが求められる。
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 防犯パトロールの実施（大森本町仲町会、PTA、その他地域） ◇ 夜間犯罪防止のための見回り（主に中学生を対象） ◇ 入新井第五小教員のパトロール範囲の拡大 ◇ 年末の夜回り（北町町会） ◇ あいさつ運動（大森二中、大森東小、入新井第五小） ◇ 子どもたちへの声掛け（平和の森公園展示室・地域住民） ◇ 入新井第五小児童の安全マップづくり ◇ 防犯カメラ設置を計画（平和島駅商店会、大森北六南町会） ◇ 保護者向け不審者情報メールの配信 ◇ 防犯につながる駅周辺の清掃活動
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ マンション建設に伴う街路灯の配置の見直し。 ◆ 大森東一丁目の街路灯が暗い。 ◆ 公園内にホームレスが居住している。 ◆ 不審者が多い。 ◆ 共同住宅居住者と地域住民のコミュニケーションがない。 ◆ 防犯カメラが息苦しい。 ◆ 振り込め詐欺などの犯罪情報が近所で共有されない。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 街路灯計画を作成する。 ○ 各戸に玄関灯を設置する。 ○ 門灯を点ける。 ○ 野宿者の支援・住居を提供する。

区分	要 旨 ◇：取組状況 ◆：問題・課題 ○：解決案
防犯	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯対策としては、パトロールの実施や街路灯などによる照度の確保が有効である。地域コミュニティも重要で、犯罪が起きにくいまちづくりを地域が一体となって取り組むことが必要である。 ・防犯カメラは、見られていることに抵抗を感じるかもしれないが、犯罪抑止としての効果は大きいと考える。
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ◇歩道での自転車との接触を避ける。 ◇京浜開発の交通整理 ◇バリアフリー点検による大田区への要望 ◇高齢者、独居者の見守り ◇住民同士のつながりが強い。 <ul style="list-style-type: none"> ◆歩道内の自転車と歩行者の交錯が危険である。 ◆歩道を通行する自転車が速くて危険である。 ◆幹線道路の横断では自転車と歩行者が錯綜する。 ◆赤信号で横断する歩行者が見られる。 ◆大森東交差点付近の歩行喫煙が見受けられる。 ◆平和島駅前の歩行者動線がよくない ◆飲食店の前などの放置自転車が道路を塞いでいる。 ◆児童が登校する時間帯のごみ収集車の通行が危険である。 ◆インターロッキングブロックによる舗装は車椅子等の通行に支障する。 ◆公園の夜間封鎖により、車椅子が出入りできない公園がある。 ◆ユニバーサルデザインのトイレにベッドがない。 ◆平和島駅にホームドアがない。 ◆バリアフリーになっていないところがある。 ◆ミハラ通りは車両交通量が意外と多く、ハイブリット車は気が付きにくい。 ◆競艇場に不特定多数の人が集まる。 ◆ワンルームマンションの増加でコミュニケーションが不足している。 ◆公園内にテレビ、冷蔵庫等の廃棄物が捨てられる。 <ul style="list-style-type: none"> ○自転車利用のルールを教える。 ○公園は災害時の避難場所でもあるので夜間施錠をやめる。 ○駅ホームドア設置運動を実施する。協議会からの提案 ○協議会がトイレのユニバーサルデザイン化を提案する。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用は環境にやさしい移動手段として有効であるが、走行空間が整備されていないことやマナー・ルールが徹底されていないため、歩行者との交錯など危険な状況が発生している。安全に自転車利用ができるまちづくりに取り組んでいくことが必要である。 ・平和島駅周辺はバリアフリーとなっていない箇所も多く、老朽化した既成市街地の更新にあたっては、ユニバーサルデザインの視点で、徐々にまちを再構築していくことが必要である。
不明	<ul style="list-style-type: none"> ◇こらぼ大森での障がい者理解のための委員会の開催 ◇福祉園バザーによるコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ◆個人情報保護法と地域のコミュニケーション。 <ul style="list-style-type: none"> ○街ぐるみで大森二中避難所協議会で活動を強化中。 ○住民参加によるワークショップを数多く開催する。

【総括】

1) 防災

- ・防災の取り組みは、地域住民全体で実施することが重要である。多くの人が参加する仕組みづくりや催しなど、参加の機会を提供することで、防災に対する意識や防災訓練参加への意欲付けを展開していくことが求められる。
- ・実態に合わない避難所の指定などの指摘もあり、地域における個別課題の抽出と対応について検討する必要がある。
- ・駅前商店街では、建物の老朽化も見られ、建替えにあたっては建て詰まりを解消することなど、防災面を強化する更新が必要である。

2) 防犯

- ・全国的に子どもや女性、高齢者などの弱者に対する犯罪が発生しており、平和島地域でもいつ起きてもおかしくはない。現在パトロールなどの取り組みが行われているが、地域でのような取り組みができるのか改めて検討することも必要である。
- ・特に子どもが犯罪に巻き込まれない対策について地域が一体となって取り組むことで地域コミュニティが充実することや、子どもを持つ若い世帯の防災の取り組みへの参加の機会をつくることにもつながると考える。

3) 日常生活

- ・自転車走行による歩行者への影響や放置自転車の防災面など自転車利用が大きな課題となっている。大田区が作成した「大田区自転車等利用総合基本計画」も踏まえて、駅周辺の自転車対策を地域住民の視点で検討を行う必要がある。
- ・平和島駅周辺は、まちの更新時期を迎えようとしている。ハード面の再整備では、だれもが円滑に移動できるバリアフリーのまちづくりを推進することが求められる。

第3回 緑豊かなまち（地域のサマースクール 2014・まちづくり科）

◇小学生も参加し、平和島地区周辺の緑・水に関するまちづくりアイデアを自由に発言

区分	意見集約
緑	<ul style="list-style-type: none"> ○平和島地区の建物を利用した緑化活動を推進する。 ○大森ふるさとの浜辺公園の対岸を緑化し景観をよくする。 ○大森ふるさとの浜辺公園の緑道に桜を植える。 ○大森ふるさとの浜辺公園に木陰をつくる。 ○大森ふるさとの浜辺公園から羽田方面に緑道を整備する。 ○内川のフェンス沿いを緑化する。 ○内川沿いの道路に季節を感じる植栽を行う。 ○沿道に季節ごとの花を植える。 ○東邦医大通りに街路樹を植える。 ○樹木に名称を表記する。
水	<ul style="list-style-type: none"> ○泳げるくらい海をきれいにする。 ○内川の水質をよくして海に流す。 ○魚・鳥が集まる水辺をつくる。 ○大森ふるさとの浜辺公園を中心に水路を活用した舟運。
施設 (公園)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが安全に遊べる公園管理を行う。 ○新たな施設要望 <ul style="list-style-type: none"> ・釣り堀 ・潮干狩り場 ・ミストシャワー ・いかだ遊び ・足湯 ・プール遊具の充実 ・キャンプ場の増設 ・海の家(ふる浜) ・流れる小川
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみのない公園を維持する。 ○商店街に風力発電設備を設置する。 ○イベント(野鳥観察、虫取り)を開催する。 ○花畑をつくって養蜂に挑戦する。
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和島地区は大規模公園を有する臨海部と近接しており、緑と身近に接することができる環境にある。近隣住民はもちろん、区内外の人も来訪するような魅力ある公園づくりをしていくことが必要である。 ・大森ふるさとの浜辺公園に関する意見が多く、水質、景観の向上や長時間滞在できる施設の設置など、公園活用展開の期待が大きい。 ・緑と水は切り離して考えられない。海や川の水質改善は困難と考えるが、公園内の池等の水質は高いレベルで維持してほしい。 	

第4回 活気あるまち

区分	要 旨 ◇：特徴 ◆：問題・課題 ○：解決案
商業	<ul style="list-style-type: none"> ◇大田市場が近い。 ◇海苔の専門店がある。 ◇歴史を感じるミハラ通り商店街がある。 ◇大規模店舗がある。 ◇駅前にいろいろなタイプの飲食店がある。 ◇和菓子屋に特徴のある商品がある。 ◇個別店舗は気さくに対応してくれる。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力（必要な）のある商品を置いた物販店が少ない。 ◆駅前商店街に活気がない。 ◆商店街が環状道路で分断され連続性がない。 ◆商店街と大規模店舗と競合する。 ◆大田市場に行ったことがない。
	<ul style="list-style-type: none"> ○商店会同志で連携した催しの開催 ○海苔を活かした商品の販売 ○明るく現代的な駅前空間づくり ○個別店舗の専門店としての店づくり ○買い物弱者に対応した宅配システム ○空き店舗の有効活用
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧東海道を活かしたミハラ通りの商店街は、魅力づくりの方向性としてはよいが、更なる活気づくりをどうするのか検討が求められる。 ・駅前商店街は過渡期を迎え、現在の密集したまちなみを活かしていくのか、その他の方法で更新していくのか、地区の総意となる方向性を定めていくことが必要である。 ・大規模店舗の進出は必然の流れであるが、集客できるツールとして地元がどのように活かすか考えていくべきである。
観光 娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ◇飛行機が見える羽田空港に近い立地である。 ◇旧東海道の歴史を感じるミハラ通りがある。 ◇健康的で環境にやさしい大規模公園などの資源がある。 ◇大田フェスタの会場がある。 ◇競艇場といった集客施設がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光の目玉がない。ニーズに対応する観光施策を実施していない。 ◆地域は頑張っているが、イベントが少ないという意見がある。 ◆おしゃれなまちという印象がない。 ◆「平和島」という地名が活かせないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域情報発信の充実 ○地域資源の魅力の向上 ○イベントの充実 ○ミニバス、レンタサイクルの活用 ○競艇場のイメージアップ ○来街者に対応した施設
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源はあるが、集客施設のレベルになっていない。ブラッシュアップをするとともに、情報発信の方策も探っていく必要がある。 ・イベント開催はあるが、リピーターが増えていくような仕掛けも含めて企画することや商業展開を推進することも必要である。

区分	要 旨 ◇：特徴 ◆：問題・課題 ○：解決案
生活 地域	<ul style="list-style-type: none"> ◇通勤時間帯の平和島駅の乗降人員が多い。 ◇駅周辺の混み合った雰囲気がよい。 ◇神社が多く、お祭りも実施している。 ◇子育てには良い立地である。 ◇幹線道路が交差している。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆特に平和島駅乗降数ピーク時は、歩道幅員が不足している。 ◆駅周辺のまちなみが整っていない。 ◆幹線道路での地域分断より、交流が不足している。 ◆通勤時間帯に開いている施設が少ない。
	○地域課題は、住民同士の協力で解決
	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺、臨海部方面の就業人口は多いようだが、駅周辺の歩行者環境がよくない。駅の乗降人数に対応できる歩道等の基盤整備が必要である。 ・住んでいる人たちの視点での意見が少ないが、重要な要素と考える。
<p>【総括】</p> <p>1) 住む人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの活気は、住んでいる人の視点も重要であり、地元で活気があればまちの魅力が向上し、自然に人は集まってくる。 ・住む人が地元の商店街や周辺の公園などに出かける仕掛けなど、地元の人々でにぎわうまちづくりを進めることが求められる。 ・住環境改善の取り組みなど、暮らしやすいまちづくりも活気あるまちの要素である。 <p>2) 働く人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京急線を利用する就業者が数多く見られることから、駅周辺や臨海部方面で働く人々をターゲットにしたにぎわいづくりも考えられる。 ・商店街のイベントなど、どのような商業展開ができるか検討していく必要がある。 <p>3) 訪れる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源としている臨海部の公園などに来街者を呼び込んで地元をどうするのかという目的を明確にしておく必要がある。 ・来街者が立ち寄る商店街の魅力づくりや情報発信など、臨海部方面への交通結節点としての平和島駅を活かしたにぎわいづくりを検討していく必要がある。 	

第5回 歴史と文化をふまえたまち

区分	要 旨
現在の歴史・文化等	<ul style="list-style-type: none"> ◇旧東海道の様子を残したミハラ通りがある。 ◇海苔問屋が多い。 ◇海苔の資料館がある。 ◇神社が多く、大森神社の祭りがある。 ◇緑や公園が多い。 ◇「OTA ふれあいフェスタ」「汐風まつり」などのイベントが開催されている。 ◇大田市場が近くにある。 ◇海があり、カヌーが盛んである。 ◇大森甚句がある。 ◇第一京浜が箱根駅伝のコースである。
過去の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ■平和島が「大森」という地名であった。 ■映画館、銭湯がなくなった。 ■伝統工芸品の衰退（大森麦わら細工）。 ■捕虜収容所があった。 ■浅間神社から富士山が見えていた。
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆駅からの施設等への案内が不十分である。 ◆地域情報が少ない。 ◆下町らしい近所付き合いが薄れた。 ◆環状7号線の交通量が多い。
資源を活かした取組	<ul style="list-style-type: none"> ◎江戸的イメージを強調したミハラ通りのまちなみを形成する。 ◎海苔を活かした特産品を開発し、宣伝する。 ◎海苔を活かしたイベント（大森巻コンテストなど）を開催する。 ◎若者たちが祭りや地域行事へ参加する方法を検討する。 ◎ホームページなどで地域情報を発信する。 ◎平和島歴史館を建てる。 ◎日常生活で歴史・文化が身近に感じられる環境をつくる。
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のまちが形成されるとともに、昔のまちなみは消えつつあるが、歴史の一部は、地図の写真などによる記録として残されており、この地区の過去に触れることができる。 ・旧東海道のミハラ通りや海苔の商売などは、歴史財産として継承していく取り組みが望まれる。また、現在の文化を将来の歴史財産としていくための取り組みも必要である。 ・こうした歴史・文化が平和島らしさを構築する要素であり、まちの魅力づくりにつなげていく具体的な活動の検討が求められる。 	

5. 簡易調査のまとめ

1) 平和島駅周辺地区（D-1）地区意向調査

①調査の目的

平和島駅周辺地区まちづくり協議会も、本年度平成26年で4年目の活動を迎えている。協議会の活動範囲の対象地区枠も広範囲であり、全区域のまちづくりの課題を整理しつつ、同時に一部地域の課題の整理を平成26年度から着手し、全体計画と整合性を図っていくことを目的とする。

②対象地区

今回意向調査の対象地域は、平和島駅にごく近い地域とし、大森北六南町会内の大森北六丁目27番地～30番地他を対象とした。今回この地域をD-1地区とする。

③調査方法

対面方式での聞き取り調査。調査担当は、コンサル及び会長。

④調査のまとめ

ア. D-1地区の方々の意識として、今までは平和島駅周辺地区まちづくり協議会の活動への関心が比較的低かった。また一部の方々から駅周辺のイメージプランの提示に対し唐突感があり、その後の協議会への参加をひかえた方々も在った。しかし意見を述べる場があれば今後は参加したいとのこと。

イ. 地権者の方々それぞれは、地域に対しての意見は持っているもので、会合があれば参加する意志があるとのこと。

ウ. 協議会全体のまちづくりの参加以上に、地権者の方々それぞれの関心のある個々の重点的な検討には裁可してゆきたいとの意思があった。

エ. 今後は協議会として、地域全体を俯瞰したまちづくりの課題の抽出と同時に、このD-1地区周辺の個別課題出しも進めながら方向性の検討を議論してゆくことも一案である。

オ. 特に環七沿いの地権者の方々の土地利用に関して、すでに個別の建替えが進み、その結果内側の土地の利用の可能性が狭まってゆく現実がある。公共性・利便性・土地の収益性の向上を協議会として示してゆきたい。

2) 平和島駅前歩行者交通量調査

■実施日時：第1回 平成26年10月7日（火）8：05～9：05

第2回 平成26年11月6日（木）8：00～9：00

1. 歩行者交通量

①第1回

◆朝ピーク時（8～9時）の駅方向から第一京浜を横断する歩行者交通量は約2,600人/時

◆電車到着時に歩行者が集中し、横断する歩行者の最大交通量は約200人/回

②第2回

◆朝ピーク時（8～9時）の駅方向から第一京浜を横断する歩行者交通量は約2,900人/時

◆電車到着時に歩行者が集中し、横断する歩行者の最大交通量は約280人/回

2. 周辺状況

①横断歩道付近

- ・道路の乱横断が発生している。
- ・横断者滞留により歩道を通行する歩行者・自転車へ支障している。
- ・歩行者空間不足と不整形（クランク）な動線形状により円滑な移動が確保できていない。
- ・バス、タクシーの停車位置が、歩行者滞留スペースに近い。

②環状7号線バス停留所付近

- ・バス利用者の滞留により歩道空間が占められている。

③細街路

- ・抜け道となる道路は歩行者で混雑している。

3. 課題整理

①歩行者空間・円滑な動線の確保

②自転車走行空間の確保

③安全なバス、タクシー乗車場の確保

4. 課題解決の方向性

①駅前沿道民有地を活用した歩行者空間、交通施設の確保

②環状7号線バス停留所再整備

③建替えルールによる細街路の拡幅

5. 今後の取り組み

以下の内容については、専門性があるため区へ要望し、その結果も踏まえて「まちづくり計画」の検討を深める。

①歩行者交通量の調査

- ・正確な調査から必要な空間を算定する。

②公共交通現況調査

- ・交通施設配置の根拠とする。

③駅前沿道民有地を活用した駅前空間整備の検討

- ・必要な面積を確保するひとつの方法として整理する。

6. 課題の整理

平成 22・23 年度のアンケートとワークショップで寄せられた意見や現地調査等から、平和島駅周辺地区の課題を整理する。

1) 基盤施設関連の課題

①駅前商店街の安全性強化

- ・老朽化建築物の建替えや共同化などによる建て詰まりの解消で安全なまちなみの形成を図り、より歩きやすく人が集まるような商店街活性化につなげる。

②ミハラ通り商店街のまちなみの維持

- ・旧東海道大森まちづくり協議会との連携を図り、ミハラ通り建替えルールなどにより、旧東海道の歴史を活かしミハラ通りの特色を鮮明にして、商店街の活性化を寄り図っていく。

③公共交通の利便性の向上

- ・バス乗降場の空間の確保による再配置やタクシー待機場の確保により、公共交通利用者の利便性の向上を図る。
- ・わかりやすい案内板の掲示などの情報提供による利便性の向上を図る。

④歩行者環境の改善

- ・平和島駅前国道側歩道幅員の拡幅や歩行者動線の改善により、円滑に移動できる空間の確保を図る。

⑤自転車利用環境の改善

- ・小規模自転車駐車場（買い物対応）、公共自転車駐車場の増設と既存施設の再整備のほか、走行空間を確保することで、自転車利用環境の改善を図る。

2) 地域連携の課題

①にぎわいのあるまち

- ・臨海部の集客施設利用者が平和島駅周辺に立ち寄る仕掛け（例 コミュニティサイクルの導入）や、イベント開催、魅力ある店舗づくりなどにより、地元住民の商店街利用の促進を図る。
- ・駅前商店街とミハラ通り商店街（旧東海道）のそれぞれの活性化とお互いの役割分担の充実と連携強化の促進を目指す。

②清潔感のあるまち

- ・地元町会・商店街が連携した清掃活動・ポイ捨て禁止の啓発活動や景観に配慮した建替えを推進することで清潔なまちなみの形成を図る。

③住みやすいまち

- ・地元町会・商店街が連携した防災態勢の確保、防災意識の啓発、防犯・防火パトロールなどにより、住む人にとって安全安心なまちの環境維持を図る。
- ・高齢者、障害者、子どもたちはじめまちにすむ誰もが住みやすい環境を担保するため、ユニバーサルデザインを意識したまちづくりのための地域啓発を図る。

④エリア連携を大切にすまち

- ・大森東口エリアからふるさとの浜辺公園はじめ大規模公園等を有する臨海エリアとの中間点にある、「平和島エリア」の役割を更に強く果たし、各エリア間の連携を深め、大田区の活性化につなげる。

7. 次年度に向けたまとめ

協議会発足当初より、問題点としてあげられていた部分がやはり平和島駅周辺地区における重大な課題であるということが見えてきた。アンケートやワークショップのまとめ、歩行者交通量の簡易調査実施などでも、同様に課題として見えてくる場所は、平和島駅前から大森東交差点の付近である。協議会としては、地域住民レベルでの調査活動を行ったわけではあるが、精度不足は否めなく、バスやタクシー、自転車利用の実態も含め、まちづくり計画の根拠となる精度を高めた調査を行い、さらに課題を絞り込み対策を検討することが必要である。

27年度は、課題整理を深度化し、まちづくりの方針、課題解決のための取り組みの方向性などの検討を進める。不足調査については専門性が高いため、精度の高い調査及び分析などを区へ切に要望したいと考える。

その結果をまちづくり計画の検討に反映させ、交通の利便性のよい安心で安全で、親しみを持ち、歩いても楽しめる平和島駅周辺地区らしいまちづくりを進める、という協議会の指針としたい。

資料編